

寅さん歩 その 15

江戸・東京(23 区)の百名山-14

平野 武宏



深田久弥提唱の「日本百名山」は山男や山ガールが入門書や目標としています。昔の友人もはまっていましたが、山の上があまり好きでない寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に入りました。NHKBS 放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、自分の足のみで踏破しているプロアドベンチャーレーサーの姿を知りました。(平成 28 年 9 月 22 日放映終了) 4 年前に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。「山の日」祝日実施記念として踏破に挑戦したい気持ちになりました。

著者手島氏の選んだ「百名山」は現存しない山や富士塚も含まれていますが、最高峰は新宿区 44.6m の箱根山と知り、自分の足だけなどと言わずに、東京都シルバーパスも活用し、楽しみながら、踏破する新シリーズとします。位置関係が分かるように、数の多い 23 区順に紹介します。

今回は六番目に多い練馬区の 4 山、七番目に多い江戸川区、江東区の各 2 山です。数字は踏破した数の累計です。

これで 13 区の 90 山を踏破です。最寄り駅は代表例で、都営はシルバーパス使用可です。

[練馬区]

83. 稻荷山

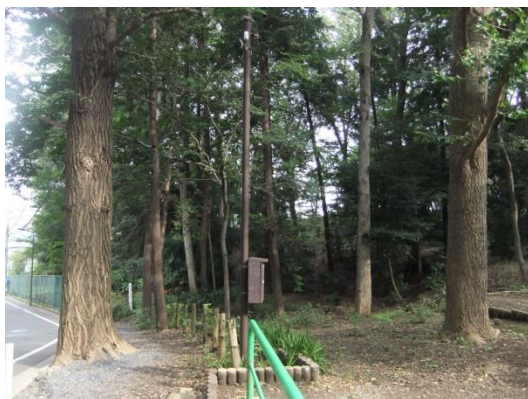
土土田 4 丁目 14 稲荷山憩いの森

最寄駅 東武東上線 成増駅南口からバス利用

石神井公園北口行きバスで「土支田 2 丁目」で下車。

右手に見える森が「稲荷山憩いの森」です。説明板には「この森は武蔵野の面影を残す樹林です。ここには小鳥なども数多く集まり、湧水池もあり豊富な水が絶え間なく流

れ出し、区内では数少ない自然が保たれている所です」と記載。森の左側の坂(写真下左)はかなり急な下り坂です



山の裏手に下りると、裏手側にも上り口がありました(写真下)



84. 清水山

大泉町 1 丁目 清水山憩いの森

最寄駅 東武東上線 成増駅南口からバス利用



稲荷山を下り、白子川沿いに歩くと、左側が「清水山憩いの森」の下から上り口です。この森は土地所有者のご好意で区民に開放された憩いの森とのこと。清水が湧き、野鳥が住み、「かたくりの群落地」で春には「かたくりの花」が一面に咲く、この雑木林は練馬に残された貴重な自然とのこと。



85. 中里富士

大泉町 1 丁目 八坂神社内

最寄駅 東武東上線 成増駅南口からバス利用

「清水山憩いの森」を上まで上り、森の脇を下り、白子川の別荘橋を渡るとすぐ右手に「八坂神社」の鳥居が見えます。正面は社殿への石段で、二の鳥居右手が「中里富士」(写真下右)への上り口です。



説明板によると『「八坂神社」は旧橋戸村の鎮守でいつの頃か京都八坂神社(祇園社)の分霊を勧請して創建。守護神は牛頭天王で、この辺りの字を「中里」と言ったので、「中里の天王様」と親しまれました。「中里の富士塚」は南側の基部からの高さは約 12m、径が約 30m あり、明治の初期に講中により築造されたと言われていますが、文政 5 年(1833 年)の石碑があることから、江戸時代にはすでに原形があったと思われます』と記載。

寅さん歩 その 9 東京の富士塚めぐり-4 を参照ください。



登山道は溶岩でごつごつし、狭いつづら折り(写真上2枚)で、今までで一番苦勞して山頂へ。山頂の祠は向こう側の家の2階部分でした。写真下右は山頂から見た「清水山憩いの森」。



86. 江古田富士

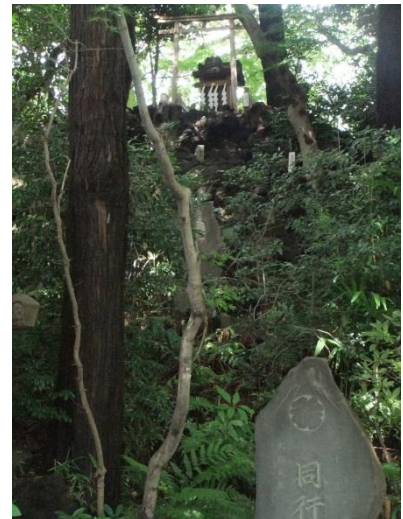
小竹町1丁目59 浅間神社内
最寄駅 西武池袋線 江古田駅

駅北口のエスカレーターを降りるとすぐ前が「浅間神社」です。
正面拝殿の裏に「江古田富士」があります。



説明板によると「天保 10 年(1839 年)に築造されたものと考えられますが、一説には文化年間(1804 年～1818 年)築造とも言われています。高さ約 8m、直径約 30m、関東大震災の時に損壊しましたが、その後復旧され、塚全体が富士の溶岩で覆われています。頂上の唐破風屋根の付いた石祠は天保 10 年(1839 年)に造立されたものです。都内の富士塚の中では大規模な部類に属し、庶民信仰の様相を示すものとして、昭和 54 年(1979 年)5 月に**国の重要有形民俗文化財に指定**されました」と記載。

国重要有形民俗文化財の富士塚はこの他に前述の台東区と後述の豊島区にあります。残念ながら山開きの日とお正月、9 月の祭礼の日以外は上れません。外から頂上の石祠(写真右)を撮影しました。



寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-3
を参照ください。

[江戸川区]

87. 江戸川富士

南葛西 6 丁目 23 富士公園

最寄駅 東京メトロ東西線 葛西駅からバス利用

駅からバスに乗り、「総合レクリエーション公園」で下車。
公園左手のフラワーガーデンを抜けると「富士公園」入口
(写真下左)です。小高い丘(写真下右)を登ると頂上の
切株に「江戸川富士 山の高さ 海拔 11m」と記載。



上は切株の江戸川富士山頂表示、
右は裏側の石段の道、上ると山頂です。

寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-9 を参照ください。

88. 平井富士（逆井の富士塚）

平井3丁目1 浅間神社
最寄駅 総武線 平井駅

駅南口から商店街を行き、二つ目を右折、直進して旧中川を背にした場所にあります。江戸川区は現存する富士塚が16基と都内最多です。別の番地に「平井の富士塚」がありますが、住所及び浅間神社の名が一致する、こちらを「平井富士」（写真下）としました。高さ約5m、区内最大。建造年代は不明ですが、明治17年（1884年）の碑があるので、区内で最古の築造

と説明板に記載。写真下右は山頂の石祠。富士塚そのものが浅間神社です。



寅さん歩 その9 東京の富士塚めぐり-10 を参照ください。

〔江東区〕

89. 富士山

清澄3丁目 清澄庭園内

最寄駅 都営大江戸線 清澄白河駅

筆者の手島氏は「富士見山」と称していますが、現地の表示は「富士山」なので、これを採用します。「清澄庭園」の一部は江戸の豪商、紀伊國屋文左衛門の屋敷跡と言い伝えられています。享保年間（1716年～1735年）に下総国 関宿城主 久世大和守の下屋敷となり、庭園の基が形造られました。

明治11年（1878年）岩崎彌太郎が荒廃したこの邸地を買取り、社員の慰安や貴賓を招待する場所として造園を計画、明治13年（1880年）「深川親睦園」を開園、その後も全国から名石を取り寄せ、明治を代表する「回遊式林泉庭園」として完成。昭和54年（1979年）東京都の名勝に指定されています。

関東大震災や大空襲では避難所として多くの命を救いました。庭園の奥に「富士山」があります。全山がツツジとサツキに覆われて別名「つつじ山」とも言われます。現在は上ることが出来ません。写真下は上り口と下から山頂を望みます。

大正3年（1924年）庭園の東半分が東京市へ寄贈され、昭和7年（1932年）清澄庭園として開園。東京都は昭和48年（1973年）西

半分を購入し、昭和 52 年(1977 年)開放公園として追加開園。



写真右は山頂から見られると推定した園内風景です。園内には伊豆磯石、伊予青石、紀州青石、生駒石、伊豆式根島石、佐渡赤玉石、備中御影石、讃岐御影石などの名石が庭石として据えられています。岩崎家が自社の汽船を用いて全国の石の産地から集めたものとのこと。

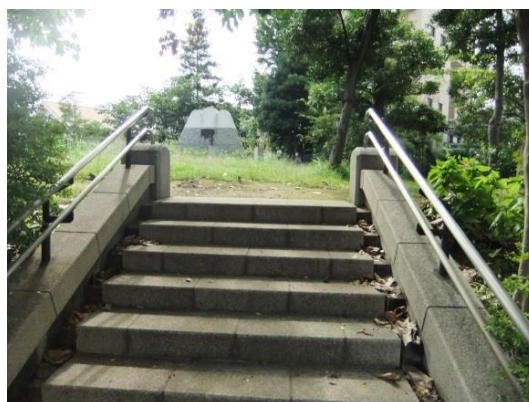


90. 亀戸富士

亀戸 9 丁目 9 亀戸浅間神社

最寄駅 総武線 亀戸駅からバス利用

バス停「浅間神社」で下車。向かい側に目印の幟が立っています。写真下左は富士塚入り口の鳥居と石段です。





写真左は富士塚。
ここの富士塚は
日本武尊が東征時
に海を鎮めようと
荒海に身を投げた
妻の筭がこの辺り
に流れ着き、造られ
た筭塚が起源との
こと。

〔こぼれ話〕 紀伊國屋文左衛門

江東区三好1丁目を歩いていたら、「紀伊國屋文左衛門の碑」（写真右）を見つけました。通りに面していますが柵で囲われ、中には入れません。墓はこの脇にある「成等寺」にあるそうですが、清澄庭園に住み、吉原で豪遊したお大尽とは思えぬ粗末なお墓だそうです。



江戸元禄期の商人ですが、生没年もはっきりせず、半ば伝説上の人物のような紀伊國屋文左衛門は紀州和歌山に生まれ、20代の頃に紀州で豊作で値落ちした**みかん**を江戸に運び**大儲け**、上方で伝染病が流行った時に塩鮭が効くと噂を流し、江戸から大量の**塩鮭**を運び**大儲け**、その後、幕府の御使用人に取り入れ、**幕府御用達の材木商**として上野寛永寺中堂の造営で**巨大の富**を得ています。材木商は火災で廃業、**幕府の十文銭の鑄造を請け負**いましたが、質が悪く**大きな損失**を被い、商売の意欲を失ったと言われています。全財産を使い果たし、晩年は乞食同然の生活を送ったとも言われています。

次回は江戸・東京（23区）の百名山-15です。

平野 寅次郎 拝